



# ガザ

## 素顔の日常

地中海に面した美しいビーチ。サーファーやラッパーに普通の大学生たち。

あなたの全く知らないガザ地区へご招待！

東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザでは人々が貧困にあえいでいる。イスラエルが壁で囲み封鎖したため物資は不足し移動の自由もなく。「天井のない監獄」と呼ばれる。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる一。



ガザ地区は紛争のイメージが強い場所  
しかしここにも日常があり、普通の人々が暮らしている――。

監督:ガリー・キーン、アンドリュー・マコーネル／製作:ブレンダン・J・バーン、ガリー・キーン、アンドリュー・マコーネル、ポール・カデュー／製作総指揮:トレバー・バーニー、クリスティアン・ベーツ、マリーズ・ルイヤー／撮影監督:アンドリュー・マコーネル 編集:ミック・マホン 音楽:レイ・ファビ  
配給:ユナイテッドピープル／92分／アイルランド・カナダ・ドイツ／2019年／ドキュメンタリー  
©Canada Productions Inc., Real Films Ltd.

広島映画サークル 2月例会

## ガザ 素顔の日常

2月25日(日) ①11:00～ ②14:00～

【当日券】 1,500円(中学生・高校生 500円)(シニア等は廃止)

【前売り券】 1,400円(1ヵ月前からエディオン広島本店(東館9F))

\*例会場で次例会の前売り券を販売します。

【会員】(例会:年4回。会費:年5000円、半年2500円)



あなたはガザ地区と聞いたら、どんな場所をイメージするだろうか？  
 あなたはこの映画で全く違うガザの一面を発見することだろう。穏やかで美しい地中海に面しているガザの気候は温暖で、花やイチゴの名産地。若者たちはサーフィンに興じ、ビーチには老若男女が訪れる。海辺のカフェの飛び切りハイテンションな店主に朝会えば、間違いなく誰もが幸せな一日を過ごせるはずだ。他にもタクシー内で歌う人々やあふれる想いを叫ぶ若いラッパーに、妻が3人、子どもが40人いる漁師のおじいちゃんなどが登場する。こんな個性豊かなガザの人々にきっと魅了されるに違いない。



イスラエルが壁で囲み封鎖したため物資は不足し移動の自由もなく「天井のない監獄」と呼ばれる。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる——。



平和が欲しい。  
 ただ普通に暮らしたい。

しかし現実には過酷だ。東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザの住民の約7割が難民で貧困にあえいでいる。イスラエルはガザを壁で取り囲むのみならず、2007年以後は物資や人の移動も制限する封鎖政策を続けており、陸も海も空も自由が奪われたガザは「天井のない監獄」と呼ばれる。2014年と2018年の戦争では、多数の学校、病院、家屋、発電所などが破壊され、多くの命も失われるなど、ここには命の保証もない。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる。19歳で現実逃避するためにチェロを奏でるカルマは海外留学して国際法や政治学を学びたいと考えている。14歳のアフマドの夢は大きな漁船の船長になり兄弟たちと一緒に漁に出ることだ。「欲しいのは平和と普通の生活」。ガザの人々は普通の暮らしを今日も夢見ている。

## 会員募集

入会金：不要

会費：年 5000 円（半年 2500 円）、  
 中高生 年 2000 円、（半年 1000 円）

例会（上映鑑賞会）：年 4 回

広島映画サークル協議会 お問い合わせ Tel. 070-2228-7513



広島映サ HP